

※1年生の人はうちのひとによんでもらってください。

5月7日 「校長先生のメッセージ」

再開を楽しみにしていましたが、もう少し、辛抱をしなくてはならないようです。残念です。

みなさん元気になっていますか？

先生たちは、授業の準備をして待っています。

さて、先日の午後の事です。雨が急に降り出し、辺りは暗くなりましたが、それも束の間、パアッと雨が上がり青空がのぞき、光が差し込むことができました。ふと思い出したのが、昨年の映画「天気の子」。不思議な能力をもった少女が、雨が続く毎日を祈ることで、雨が上がり、光が差すという場面です。誰か、祈ってくれてこのコロナも消えればいいのにと青空になった空を見上げてふと思ってしまうしました。

しかし、考えてみれば、今、世界中の科学者は、このコロナを封じるためにワクチンや新薬の開発に日夜、懸命の努力をしています。今、世界中の医療関係者がコロナウイルスに感染した人を救おうと自分が感染するリスクを抱えて治療に当たっています。そして皆さんは、つまらない生活かもしれないけど、食べるものがあり、電気、ガス、水道があり、ごみも出せる生活が過ごせています。

この清潔で普通の生活が過ごせるのは、このような状況でも働いてくれている大人の人たちがいるからです。普通の生活ができるように支えてくれている大人が大勢いるのです。

だから、みなさんは、もう少し我慢してください。コロナウイルスにうつらないことが、大人の負担を減らすことになるからです。これからも、自分がうつらない、うつさない、生活を送ってほしいと思います。

そして、もうすぐ学校が始まるはずです。学校が始まったら、学校の生活に早く戻れるように家では規則正しい生活をしましょう。

今、大人たちは、みんなで、それぞれできるところで知恵を出し合ってこの困難を乗り越えようとしています。皆さんもあと20年もすれば立派な大人になります。社会や世の中がこのように大変なことになったときに、役に立てる大人になるために、今はお家でしっかりと自分のできる

ことをやってほしいと思います。

5、6年生に伝えます。

今、起きていることは、私も長く生きていますが、初めての経験です。今、大人は、未知の困難と闘っています。皆さんは、これから大人になり、この日本、世界を創り上げていきます。だから今起きていることを、ただ怖がるばかりではなく、この困難を大人たちはどう切り抜けていくかしっかりと記憶に残してほしいです。次の時代を創るのはあなた達です。きっと光を差し込ませるのは、祈りではなく人間の知恵ですから。

では、再開する日を待っています。